

平成29年10月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年2月24日

上場会社名 株式会社 オリバー

上場取引所 名

コード番号 7959 URL <http://www.oliverinc.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 大川 博美

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 管理本部長

(氏名) 岸邊 均

TEL 0564-27-2800

四半期報告書提出予定日 平成29年3月3日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年10月期第1四半期の連結業績(平成28年10月21日～平成29年1月20日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年10月期第1四半期	4,893	△6.5	229	△47.0	490	△2.4	333	2.4
28年10月期第1四半期	5,234	3.7	433	△0.5	502	△4.4	325	13.9

(注)包括利益 29年10月期第1四半期 935百万円 (—%) 28年10月期第1四半期 △174百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年10月期第1四半期	32.66	—
28年10月期第1四半期	31.91	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年10月期第1四半期	35,693	27,036	67.0	2,345.83
28年10月期	35,443	26,214	65.3	2,268.12

(参考)自己資本 29年10月期第1四半期 23,923百万円 28年10月期 23,132百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年10月期	—	10.00	—	10.00	20.00
29年10月期	—	—	—	—	—
29年10月期(予想)	—	10.00	—	10.00	20.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年10月期の連結業績予想(平成28年10月21日～平成29年10月20日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	13,700	△3.6	1,800	△11.3	1,900	△10.4	1,175	△16.2	115.20
通期	25,200	0.8	2,700	0.8	2,900	1.0	1,800	0.4	176.47

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

詳細は、添付資料3ページ「2.サマリー情報(注記事項)」に関する事項 (4)追加情報」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年10月期1Q	12,976,053 株	28年10月期	12,976,053 株
29年10月期1Q	2,777,707 株	28年10月期	2,777,151 株
29年10月期1Q	10,198,709 株	28年10月期1Q	10,200,217 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による経済政策及び日本銀行の金融緩和策の継続により、企業収益や雇用環境の改善により緩やかな回復基調が見られたものの、英国のEU離脱問題の悪影響、中国をはじめとする新興国の景気減速や米国の新大統領就任や為替の変動によるリスクなど、景気の回復は依然として不透明な環境で推移いたしました。

このような経営環境の中、当社グループは『収益向上・安定的な成長』の基本方針のもと、当社の得意とするソリューション提案型営業を推進してまいりました。

また、首都圏に続き中部地区の既存事業強化及びリニューアル需要の取り込み強化のため、岡崎本社のショールーム一部改装と実際のワークゾーンをショールーム化した体感型オフィスPLAY WORKへと刷新し、販売拡大に努めました。しかしながら、世界経済の先行きの不透明感などから、大型設備投資の減退の動きがみられました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における連結業績は、売上高が4,893百万円（前年同期比6.5%減）、営業利益は229百万円（同47.0%減）、経常利益は490百万円（同2.4%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は333百万円（同2.4%増）となりました。

主なセグメントの業績は以下のとおりであります。

〈家具・インテリア事業〉

家具・インテリア事業につきましては、地方を含むインバウンド効果による宿泊施設市場への販促活動の継続や、医療施設の設備更新などを継続して受注しましたが、前年同期比では大型設備投資受注が減退したことにより、売上高は4,271百万円（同7.4%減）となりましたが、営業利益は116百万円（同61.5%減）となりました。

部門別では、オフィスインテリア部門につきましては、これからの働き方を考えたコンセプトによる岡崎本社ショールーム、PLAY WORKオフィスの改装を実施するなど、営業強化に努めましたが、売上高は533百万円（同7.4%減）となりました。

店舗インテリア部門は、主力取引先である各大手外食チェーンが働き方改善による新規出店・リニューアル案件が徐々に回復基調にあり、売上高は985百万円（同1.6%増）となりました。

施設インテリア部門は、宿泊・医療施設等の大型設備投資受注が伸びず、売上高は2,586百万円（同9.0%減）となりました。

ホームインテリア部門の売上高は、円安による価格の改訂が浸透せず、64百万円（同36.2%減）となりました。

〈放送・通信事業〉

放送・通信事業においては、スマートフォンの普及に伴い、大手通信事業者との競合がさらに厳しさを増している中、毎月開催しております「ミクス大相談会」が着実に実績を上げ、売上増に寄与いたしました。また、岡崎市内の一部エリアでの光幹線工事の完了によるエリア拡大の開局キャンペーンを行い、新規顧客獲得に努めました。

さらに、インターネットでの音楽や動画のダウンロードを頻繁に利用する顧客に対応するため、より快適に利用できる「1ギガサービス」の運用に向けての準備も順次行っております。

これらの施策の結果、放送・通信事業における売上高は619百万円（同0.2%増）、営業利益は光幹線設備の保守管理費用の増加もあり106百万円（同13.6%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における財政状態は以下のとおりであります。

総資産については、前連結会計年度末に比べて250百万円増加し、35,693百万円となりました。流動資産は21,669百万円となり、主なものは現金及び預金16,071百万円、受取手形及び売掛金4,421百万円であります。固定資産は14,024百万円となり、主なものは投資有価証券6,645百万円、土地3,142百万円、建物及び構築物2,695百万円であります。

負債については、前連結会計年度末に比べて571百万円減少し、8,657百万円となりました。流動負債は5,812百万円となり、主なものは電子記録債務2,018百万円、支払手形及び買掛金1,718百万円であります。また、固定負債は2,845百万円で、主なものは役員退職慰労引当金1,879百万円であります。

純資産については、前連結会計年度末に比べて822百万円増加し、27,036百万円となりました。自己資本は23,923百万円となり、自己資本比率は67.0%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループを取り巻く環境は引き続き厳しい状況にありますが、今後も比較的好調な施設インテリア部門を中心に売上の拡大を図るとともに、生産性向上及びコスト削減に努めてまいります。

なお、平成29年10月期の連結業績予想につきましては、平成28年11月25日に公表した業績予想数値を変更しておりません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

（4）追加情報

（繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用）

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を当第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年10月20日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年1月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	14,429,953	16,071,108
受取手形及び売掛金	5,392,973	4,421,285
たな卸資産	560,660	750,200
繰延税金資産	171,119	63,250
その他	294,888	366,871
貸倒引当金	△3,527	△3,543
流動資産合計	20,846,068	21,669,172
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,713,074	2,695,395
機械装置及び運搬具（純額）	245,729	233,389
土地	3,094,911	3,142,385
リース資産（純額）	19,829	18,540
その他（純額）	158,359	164,915
有形固定資産合計	6,231,904	6,254,626
無形固定資産		
その他	474,734	472,306
無形固定資産合計	474,734	472,306
投資その他の資産		
投資有価証券	5,949,076	6,645,197
保険積立金	1,673,023	369,224
退職給付に係る資産	13,961	20,719
繰延税金資産	8,113	7,533
その他	307,045	308,457
貸倒引当金	△60,428	△53,428
投資その他の資産合計	7,890,790	7,297,702
固定資産合計	14,597,430	14,024,635
資産合計	35,443,498	35,693,807

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年10月20日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年1月20日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,131,068	1,718,115
電子記録債務	1,704,359	2,018,772
短期借入金	1,000,000	1,000,000
未払法人税等	542,267	62,428
賞与引当金	336,641	100,350
役員賞与引当金	53,130	21,143
その他	844,253	891,445
流動負債合計	6,611,719	5,812,255
固定負債		
繰延税金負債	629,704	850,314
役員退職慰労引当金	1,866,201	1,879,339
退職給付に係る負債	82,244	78,820
その他	39,596	36,753
固定負債合計	2,617,747	2,845,226
負債合計	9,229,466	8,657,481
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,362,498	6,362,498
資本剰余金	5,404,457	5,406,564
利益剰余金	12,784,484	13,015,606
自己株式	△3,114,734	△3,115,528
株主資本合計	21,436,706	21,669,140
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,701,630	2,254,391
繰延ヘッジ損益	△1,836	1,834
為替換算調整勘定	△18,422	△14,095
退職給付に係る調整累計額	14,258	12,272
その他の包括利益累計額合計	1,695,629	2,254,402
非支配株主持分	3,081,695	3,112,783
純資産合計	26,214,031	27,036,326
負債純資産合計	35,443,498	35,693,807

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年10月21日 至平成28年1月20日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年10月21日 至平成29年1月20日)
売上高	5,234,757	4,893,359
売上原価	3,761,935	3,480,202
売上総利益	1,472,822	1,413,156
販売費及び一般管理費	1,039,795	1,183,722
営業利益	433,026	229,434
営業外収益		
受取利息	2,148	1,784
受取配当金	43,084	39,174
デリバティブ評価益	2,774	2,030
保険解約返戻金	6,191	179,890
その他	17,642	39,509
営業外収益合計	71,841	262,387
営業外費用		
支払利息	1,536	1,185
その他	633	128
営業外費用合計	2,169	1,313
経常利益	502,699	490,508
特別利益		
固定資産売却益	1,523	606
投資有価証券償還益	—	72,121
投資有価証券売却益	114,542	0
特別利益合計	116,065	72,728
特別損失		
固定資産処分損	975	273
投資有価証券評価損	53,265	—
その他	313	—
特別損失合計	54,553	273
税金等調整前四半期純利益	564,210	562,963
法人税、住民税及び事業税	85,928	74,798
法人税等調整額	102,600	111,406
法人税等合計	188,529	186,205
四半期純利益	375,681	376,758
非支配株主に帰属する四半期純利益	50,238	43,647
親会社株主に帰属する四半期純利益	325,442	333,110

（四半期連結包括利益計算書）
（第1四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 平成27年10月21日 至 平成28年1月20日）	当第1四半期連結累計期間 （自 平成28年10月21日 至 平成29年1月20日）
四半期純利益	375,681	376,758
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△525,921	552,760
繰延ヘッジ損益	△5,407	3,670
為替換算調整勘定	△12,266	4,326
退職給付に係る調整額	△6,140	△1,985
その他の包括利益合計	△549,735	558,772
四半期包括利益	△174,054	935,530
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△224,293	891,883
非支配株主に係る四半期包括利益	50,238	43,647

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。